

渡辺里沙記者が語る「コロナ、知床観光船沈没事故、LGBTQ…」 札幌国際大学「現代メディア論」で講義

2022年7月22日（金）

7月22日（土）、報道情報局報道部の渡辺里沙記者が、札幌国際大学（札幌市清田区）の現代メディア論のゲスト講師として2コマを担当し、対面とオンラインでそれぞれ約70人の学生が参加しました。ディレクターとして新型コロナウイルス感染症の感染拡大でひっ迫する救急医療体制を取材し、いのちと向き合う医療従事者の不安や葛藤、覚悟を描いたテレメンタリー『たたかう“生命の守り人”』（2020年7月11日放送）や、今年4月に発生した知床観光船沈没事故での現場取材経験をテーマに、担当の芳賀恵非常勤講師とのやりとりで授業を進めました。また、2021年3月16日に夕方の情報番組『イチオシ!!』で放送した特集企画「性別を変えた同級生 『女性であることに違和感』」では、性的マイノリティや同性婚をめぐる現状についても伝え、学生たちは大きな関心を寄せていました。渡辺記者は「テレビ離れが進む中、若い世代にもっと興味を持ってもらえるようなテレビを作っていかななくてはいけないと改めて思いました。また、いただいた感想のほとんどがLGBTQに関することでしたので、引き続き取材を続けていくべきだと再認識させられました」と話しています。

